

Hello! FUJISEI

No.254

厚生労働省の「平成25年 国民健康・栄養調査結果の概要」によると、現在習慣的に喫煙している人の割合は19.3%でした。性別では、男性32.2%、女性8.2%であり、男女ともに10年間で減少傾向にあります。

喫煙により引き起こされる様々な健康への影響により、喫煙者は余命が短くなると言われています。

世界保健機関（WHO）は、昭和45年にたばこ対策に関する初めての総会議を行い、平成元年には5月31日を「世界禁煙デー」と定め、喫煙しないことが一般的な社会習慣となることを目指した「たばこか健康かに関する活動計画」を開始しました。

厚生労働省においても、平成4年から世界禁煙デーに始まる一週間を「禁煙週間」として定め、各種の施策を講じています。

「たばこが健康に悪影響を与えることは明らかであり、禁煙はがん、循環器病等の生活習慣病を予防する上で重要である」として、たばこを減らすことで命を守ることを目的に、今年度は「2020年、スモークフリーの国を目

5月31日～6月6日は禁煙週間

禁煙は生活習慣病を 予防する上で重要！

指して～東京オリンピック・パラリンピックへ向けて～」を禁煙週間のテーマとし、禁煙及び受動喫煙防止の普及啓発を積極的に行います。

「健康日本21（第二次）」やがん対策基本計画の目標でもある「未成年者の喫煙をなくす」ためには、喫煙による健康影響を認識させることが重要とされ、「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」に基づく第2回締約国会議において、「たばこの煙にさらされることからの保護に関するガイドライン」が採択され、我が国でも、平成22年2月に基本的な方向性として、公共の場は原則として全面禁煙であるべき等を記した通知が出され、平成24年度には、受動喫煙防止対策の徹底についての通知が出されています。

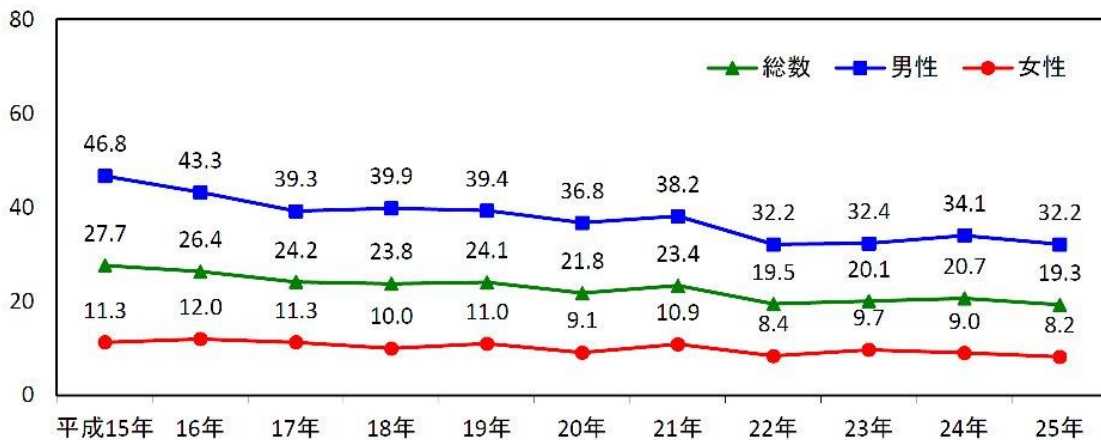
6月1日には、東京都千代田区丸



禁煙週間：5月31日～6月6日
禁煙週間のテーマ
2020年、スモークフリーの国を目指して。～東京オリンピック・パラリンピックへ向けて～

内の丸ビルホールで「がんサミット」が開催され、国のがん対策やなどに関する基調講演のほか、「世界禁煙デー特別プログラム」として、有森裕子氏、小出義雄氏らによるパネルディスカッションが開催されます。

喫煙習慣者の年次推移（性・年齢別）



厚生労働省「平成25年 国民健康・栄養調査結果の概要」より

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル